



TECHNICAL NOTE

No:515

June 2021

DiGiCo Dante Rack Utility V1.0.0 **For A168D STAGE, A164D WALL LCD & DQ-Rack**

DiGiCo Dante Rack Utility は、A168D STAGE、A164D WALL LCD、DQ-Rack などの DiGiCo Dante 対応ラック / IO ボックスで使用するための新しいアプリケーションです。

Windows 7 以上の OS で動作します。

このアプリケーションは、A168D STAGE と A164D WALL LCD のファームウェアアップグレードと、すべての DiGiCo 対応 Dante ラックのプリアンプコントロール（ゲイン、パッド、+48V）のリモートコントロールを可能にします。

インストール方法

DiGiCo Dante Rack Utility のインストーラーは、必要なコンポーネントとドライバーをコンピューターに自動的にインストールします。デスクトップにショートカットが追加されます。

インストールするには、インストールプログラムをダブルクリックし、画面の指示に従ってください。

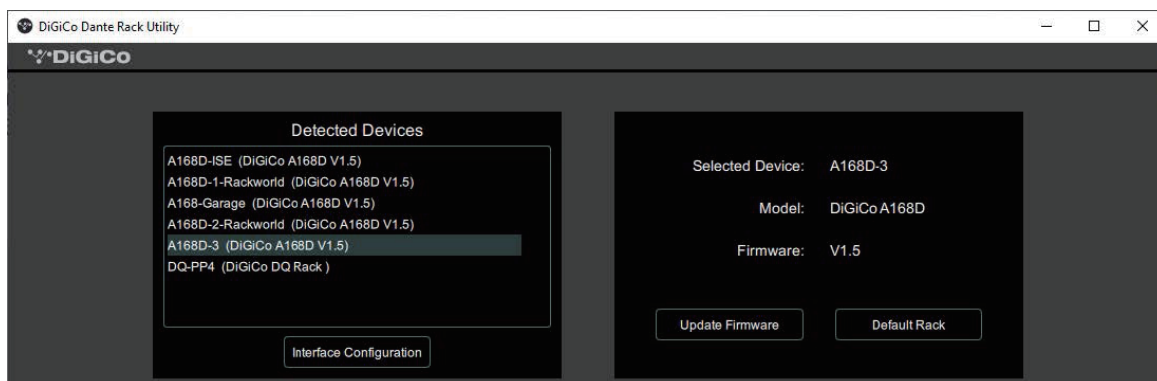
ラックに接続する

パソコンを IO 機器と同じ Dante ネットワークに接続します。コンピュータの IP は IO デバイスと同じ範囲に設定してください。

起動すると、DiGiCo Dante Rack Utility が Dante ネットワークをスキャンして対応機器を探し、最初に発見された IO ラックに接続します。

ラックに接続されると、右側のデバイス情報ウィンドウに Dante デバイス名、モデル、ファームウェアのバージョンが表示されます。

別のラックに接続する場合は、**Detected Devices** リストで接続したいラックをクリックします。



A164D WALL LCD & A168D STAGE のファームウェアを更新

DiGiCo Dante Rack Utility には、DiGiCo A164D WALL LCD と A168S STAGE の IO デバイスの最新ファームウェアが含まれています。

注意：このユーティリティは、現在 DQ Rack のファームウェアのアップグレードには対応していません。

ファームウェアのアップデートは、有線イーサネット接続で行ってください。

アップデート中は、ネットワーク上の Dante ラックのパラメータを制御・調整できるコンソールの電源がオフになっていることを確認してください。

Detected Devices ウィンドウで、アップデートしたい Rack をクリックします。右側のウィンドウに、「**Update Firmware**」ボタンが表示されます。

「**Update Firmware**」をクリックすると、アップデートが開始されます。最新のファームウェアは、DiGiCo Dante Rack Utility のアプリケーションにバンドルされています。

アップグレードが完了すると、ラックは自動的にリセットされます。電源の再投入は必要ありません。

DiGiCo A164D WALL LCD、A168S STAGE、DQ-Rack には、ラックファームウェアの他に、Dante ファームウェアも含まれています。[Dante ファームウェアのアップデートは、Dante Controller アプリケーションの Dante Updater 経由で行います。](#)

ラックソケットコントロール

ネットワーク上で検出された対応 Dante ラックのリストは、**Detected Devices** の下に表示されます。リストにない場合は、ラックと DiGiCo Dante Rack Utility が動作しているコンピュータのネットワーク設定が正しいかどうかを確認してください。

Detected Devices リストのラックをクリックすると接続されます。現在接続している、または選択されているラックがハイライト表示されます。

これらのパネルの下には、使用可能なソケットとそのコントロールが表示されます。プログラムウィンドウは、すべてのソケットを見ることができるようにサイズを変更できます。

以下のコントロールとデータが表示されます。

Name - Dante チャンネル名 / ラベルは、各入力チャンネルのロータリーコントロールの上に表示されます。チャンネル名は Dante Controller で変更が可能です。

Gain - ロータリーコントロールをクリック&ドラッグして、プリアンプのゲインを変更します。また、ロータリーコントロールの下に表示されるゲインの数値をクリックし、任意の値を入力することでゲインを調整できます。パッドが有効な場合、ゲイン値には -20dB のリダクションが含まれます。

Pad - クリックすると、ソケットの -20dB パッドが有効になります。パッドが有効な場合、ボタンは緑色に点灯します。もう一度クリックすると無効になります。

48V - 48V をクリックし、確認ダイアログボックスで「OK」をクリックすると、ソケットの +48V ファンタム電源が有効になります。48V がアクティブになると、ボタンが赤く点灯します。48V を再度クリックし、ダイアログボックスの "OK" をクリックして無効化します。





ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563

E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <https://www.hibino-intersound.co.jp/>